

大阪城

2025

2/27

(木)

14522

号

全港湾
西成分会

2247
6647-
4947

今週は後半、暖くなるようですが、しかしその
ままスット春には向ってくれないようです。
3/1(土)からは奈良のお水取り(3/12-3/14)に
由西には春がやってくる。昔ながらのわかれころ。
もう少し、気をしめなびして自然の変化をよく見て
3月にふせこんで行こう。

自然の変化以上に人間のつくり出す権力と軸にた
政治社会の激変はすさまじい。アメリカのトランプが
なせか? ロシアのプーチンの肩をもち、ウクライナの
ゼレンスキー大統領の悪口をいけなし始めている。
あまりにも、手のひらがえし、二階へ上げておいてのハンゴ
はずしが、原色であからさまなので、自分の耳目を
疑うほどになっている。しかし、しかし、相手がアメリカの
大統領・トランプなので、だれも、名のある人は、文句を
いわない、いえない舞台が続いている。

その上、今まで応援・援助した武器や金の命をウク
ライナにある、鉱石やレアメタル(希少金属)で、アメリカに
支払え、と書類で約束せよ、と迫っている。

たしか、100年ほど前、アメリカは、自国第一主義が力を
もち、ヒットラーのナチスがヨーロッパで生れた時、そんな
ことは放っておけ、アメリカ国内のこと、たけやっ、おこ、
という政治が力をもち育っていた。そ、こ、ら、の、火、種、と、現、代、が
つなかり、おめ、か、と、国内で生れはじめたの、た、ら、う、か、。

★西成・釜ヶ崎も、だれもが話しているように、

50年も昔しかから見ると、大きくかわってきています。

1969年(昭和44)年ころは、今のセンターの横を歩け

るような鉄の板で囲われていました。鉄の板で囲まれた

中では、今のセンターが、奥村組によって建てられていました。

そのころは、求人や求人車は、南海線(十二バク堀と紐歌山)の

西側で求人されて、千里の万博の辺りに、突っ走って

求人車や労働者でいっぱいでした。やりこまじやう

仕事のやり方もはやって、朝8時ころ現場につくと

二時、三時だけやれば、例えば、このぐらゐの穴を掘れば、

2時ころ11時で、休みもとらざる時間ごやっしまえば、日

の金をはらうつゝとなり、みんな休憩もとらざるやっ切つて

いました。そして、元気な力のある労働者は、又センターへ

すぐ帰り、午後1時ころからの仕事をみつけ、又、仕事を

するとか、今では、考えられないエネルギーと熱気にあふ

れていました。そして、2025年(令和7年)

再びセンターは、鉄のパネルの板で囲われていました。

時の流れは、途絶えさるゝことなく、いろんな景色もフクリ

出しなから、流れていきます。通天閣の会社も南海が

小会社に、グループに入れたといひます。目には見えませんが

運営、金融の力も変化し、生き続けています。そして、

少しさびしいですが、3月からは、このビル「大阪城」は、

週一回、木曜日に出すようにします。木曜日だけ

さびしいですが、また、読んでやっつて下さるゝよろしく！